

研究課題名	脆弱性仙骨骨折によって生じた下部尿路障害の治療戦略
研究機関名	武蔵野赤十字病院 整形外科
研究責任者	所属 整形外科 氏名 野間未知多
研究期間	(西暦) 当院臨床研究倫理審査委員会承認後 ~ 2022年3月31日
研究の意義・目的	仙骨の脊柱管が骨折によって変形狭窄すると、下部尿路機能障害を起こします。高エネルギー外傷での仙骨骨折に伴う下部尿路障害の報告は多く、治療方法や指針は多いのですが、その予後や成績については一定の見解がありません。一方で、骨粗鬆症が基礎にあり軽微な外力で起こる脆弱性仙骨骨折は、高齢化に伴い増回傾向です。しかし、これによって生じる下部尿路障害は2%程度でしか発症しないため、その研究報告はとても少なく、治療指針がありません。適切な手術適応や手術手技、保存治療方法を提案することをこの研究の目的としています。
研究の方法 (対象期間含む)	2019年1月～2022年3月に当院及び研究協力機関の同門医局関連病院*で診療した脆弱性仙骨骨折の後方観的な観察研究です。(*東京大学病院、日赤医療センター、関東労災、横浜労災、虎の門、JACHO東京新宿、川越医療センター、さいたま赤十字病院、稲波脊椎センター、NNT病院、駒込病院、相模原病院、多摩総合病院) 当院及び研究協力機関から得る必要な情報・試料は既存のもので、匿名化してデータを抽出し、研究終了後は再現不能に処理した上で破棄します。
①試料・情報の利用目的及び利用方法(匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①②この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療録より、年齢、性別、骨折の形態、喫煙の有無、受傷から手術までの待機期間、手術時間、術中出血量、術後合併症の有無、画像所見のデータを収集して行う研究です。 ③当院研究事務局所属者 ④武蔵野赤十字病院 整形外科 野間未知多、佐藤雄亮、原慶宏

問合せ先

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ

〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1

武蔵野赤十字病院

所属 整形外科

氏名 野間未知多、佐藤雄亮、原慶宏

TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525